

「ベトナム人 VRで地震体験 益子「知識や心構えついた」



VR防災体験車で地震を疑似体験するベトナム人（22日、益子町塙の集合住宅「ビレッジハウス益子」で）

ベトナム人 VRで地震体験

益子「知識や心構えついた」

益子町塙の集合住宅「ビレッジハウス益子」で22日、地震を想定した防災イベントが行われた。入居するベトナム人の男女26人が参加し、仮想現実（VR）の技術で震災を疑似体験した。賃貸住宅管理会社「ビレッジハウス・マネジメント」（東京）が企画した。まず、県防災士会理事の宇賀神一晃さん（46）が集合住宅の集会所で、日本の地震状況や災害情報・非常食の入手方法、避難の手順などを説明。保存食のアルファ化米の活用方法も紹介した。

参加者はその後、VR技術を使った「VR防災体験車」に乗車。激しく揺れる部屋の中で家具や調理器具が散乱する状況が立体映像で再現された。

1年3か月前に来日したダオ・ティホン・ニユンさん（26）は「母国ではほとんど地震がなくてVR体験は怖かったが、災害時に必要な知識や心構えもついた。不安も解消できた」と話した。